

第8回びりおバトルの巻

新歓イベント

新入生歓迎イベントとして、主に館内を探索してもらうクイズラリーを企画しています。参加者に、大学の図書館の広さや蔵書の量、パソコンやグループ学習室の利用ができる事などを知ってもらいます。

クイズは、主に新入生に向けて、図書館の魅力や、私たちライブラリー・サポーターの紹介をする内容にしています。

また、あまり図書館を利用しない人や、「そもそも図書館ってどういうところ？」と思っている人たちにも、図書館について知ってもらいたいと思っています。



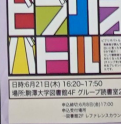
ビブリオバトル

「ビブリオバトル」とは、複数人のバトルが、1人ずつ制限時間内に自分のオススメの本を紹介し、それを聞いた観戦者が、1番読みたいと思った本を選び、チャンプ本を決めるという書評合戦です。

私たちライブラリー・サポーターが当日の司会や会場の配置を決めることなどを行っています。

また、ビブリオバトルが終わったあと、バトルの発表の様子をパネルにして、図書館内で展示します。そのとき、実際にバトルで紹介した本も、コメントを併せて展示するため、図書館利用者がすぐに借りられるようになっています。

発表者 観戦者 募集!



駒澤大学図書館 ライブラリー・サポーターとは??

- ・大学図書館のイベント企画を共同運営すること
 - ・教職員との協働作業や学生相互の交流を促進すること
 - ・企画力、実行力、コミュニケーション能力を養うこと
- を目的とした駒澤大学図書館直属の学生団体です。

秘密の存在です!!

駒澤大学 ライブラリー・サポーター Season 4 Since 2016

どんな学生が所属している?
学生が学部、学科を問わず、各々が自分のやりたい図書が好きで読んでみたい本を手に取りたい学生も多く所属しています。その中には、図書館の魅力を伝える活動や、読書の楽しさを伝える活動など、参加理由はそれぞれ異なります。

サポーター「独自企画」

私たちライブラリー・サポーターは、基本的に図書館の運営や業務の支援を目的として活動しています。こうした活動の中でライブラリー・サポーターが主体となって立案し、運営するイベントが、「サポーター独自企画」です。

学生による運営を軸に、サポーターから学生に向けた企画のみならず、一般の利用者向けの企画、学校見学者向けの企画などがあります。



今後の展望

もっと駒澤大学図書館を 利用してほしい!

様々な視点からの企画展示や「リアル」な参加型の企画を行いたい!!

もっと交流と活動の場を増やしたい!

ライブラリー・サポーターは活動の場を、学内に広げていきます。きっかけは、実際に駒澤大学図書館で開かれたビブリオバトルです。サポーター経験者として各々大学の学生が参加しました。

このビブリオバトルによって新たな交流が生まれ、現在も駒澤大学図書館の見学や、サポーター同士の意見交換を行っています。

過去にはこんな企画を行いました

- ・駒澤ブックセレクション
サポーターがおすすめしたい図書館の本のキャッチコピーを考え、そのキャッチコピーで利用者にも読んでもらう企画です。この企画の狙いは、普段手に取らないジャンルの本に出会うことでした。見たいインパクトと読者に多くの人に足をとってもらうことができました。
- ・〇〇がすごい本
「サポーターがおすすめしたい」というようなキャッチコピーと書名、本のタイトル、請求番号、あらすじ、おすすめポイントを手書きで記入しました。こだわったところは、キャッチコピーを本からはみ出さずに用紙を貼ったことでした。
- ・紙袋・包装紙でブックカバーをつくらう!
ついっいついっいつい紙袋の裏面を利用して、ブックカバーを作るワークショップ型の企画です。開催日がオクムフェスティバル(決学祭)だったため、学生のみならず、一般の利用者や学校見学者にも楽しんでもらえるようにしました。短時間で簡単に行えるため、大人はもちろん、まだ小さい子にも気軽に参加してもらえました。



地域企業との交流も増加!



制作 駒澤大学ライブラリー・サポーター

← 取手部分